

# 人権とは

## 【女性の人権】

「男は仕事・女は家庭」「これは女の仕事」などの性別による固定的な役割分担意識や、慣習も根強く残っています。また、職場でのセクハラ、配偶者からの暴力なども社会的な問題となっています。

## 【子どもの人権】

少子化や核家族化が進む中で、子育てをする力が弱くなってきています。児童虐待やいじめ問題、性の商品化などが社会問題として現れるなど、子どもを取り巻く環境は難しくなっています。

## 【高齢者の人権】

高齢の方々は、ひとり暮らしや高齢者夫婦だけの世帯が非常に多くなり、生活面、健康面、介護、地域での交流や生きがいなど、多くの不安を抱えています。しかし、介護や日常の生活の中で、高齢者に対する身体的、精神的な虐待や言葉の暴力、財産権の侵害などの問題が現れています。

## 【障害者の人権】

障害を持っているというために偏見や差別を受けたりするほか、能力を発揮するための施設整備が十分でないなどの理由で、活動が制限されたり、社会への参加がしにくくなっている状況が見られます。

## 【同和問題】

出身地によって差別される同和問題は国の課題としてこれまで解消に取り組まれてきました。

生活環境の整備は随分改善されましたが、教育や就労の格差などがまだ見られるほか、結婚に対しても人々の差別意識は依然として残っています。

## 【外国人の人権】

言葉や生活習慣、制度、文化の違いなどから誤解や、偏見が差別となって現れています。家が借りられない、なかなか就業できないなどのほか、福祉サービスや医療、教育の面でも問題が生じています。



## 【H I V感染者・ハンセン病回復者等の人権】

感染症については、医学的、科学的認識が十分でないことから、誤った認識や偏見が生まれ職場 解雇や立ち退き要求といった人権問題となって現れています。また、病気が完治しても、高齢であるため地域社会へ帰りにくく、現在も療養所に残らなければならないなどの状況があります。

## 【犯罪被害者等の人権】

犯罪行為により、生命や財産への直接的な被害のほか、事後の精神的な負担等により、新たな問題に苦しめられるケースも見られます。生活や家族を取り巻く環境も大きく変わり、不安を抱える事も多く見られます。

## 【刑を終えて出所した人等の人権】

出所した人、執行猶予の判決を受けた人や保護観察処分を受けた人などが立ち直ろうとしても、地域社会での根強い差別意識があることから、就職、住居の確保が困難といった更生の妨げになるような状況が見られます。また、本人だけでなく、家族の人権が侵害される場合もあります。社会復帰のためには、周囲の多くの支援や理解が必要になります。

## 【インターネットによる人権侵害】

インターネットや携帯を利用した差別書き込みや中傷、有害情報を不特定多数の者に対して発信するなどの人権侵害が顕著になっています。利用者の情報モラルの向上や、プロバイダーへの対応を行っています。

## 【アイヌの人々の人権】

アイヌの人々は自然と共生した独自文化をはぐくんできましたが、居住する地域では、経済状況や生活環境など他の人々との格差が認められており、結婚や就職についても根強い偏見や差別があります。

## 【その他様々な人権問題】

性同一性問題・ホームレスになることを余儀なくされた方の人権問題・日本人拉致問題などです。

